

【普及課】

苫小牧市矢代町3丁目1-18

TEL：0144-72-5123

FAX：0144-74-0754

【豊浦事務所】

豊浦町字船見町10 豊浦町役場内

TEL：0142-83-2481

FAX：0142-83-3521



## 第73回 北海道植樹祭が開催されました

第73回北海道植樹祭が5月28日(日)厚真町幌内地区の町有地で開催されました。

同植樹祭は、道民に森林の大切さを広く普及啓発することを目的に昭和25年から継続されている事業で、森づくりをとおして森林への理解を深めるとともに、今年は、2018年9月に発生した胆振東部地震からの復興を祈念して、被災した厚真、安平、むかわの3町関係者や地域住民、道内各地からの参加者など約750名が、カラマツやアカエゾマツ、エゾヤマザクラ、ヤチダモ、シラカンバ、ケヤマハンノキの苗木1000本を植えました。



鈴木知事の挨拶



宮坂厚真町長の挨拶

開会式では鈴木直道知事が「胆振東部地震の発生から今年は5年という節目の年となった。被災地の方々が将来にわたって安心して暮らしていけるように地域に寄り添い、取組を進めていく。本日は森林の再生と復興が進むよう願いを込めて植樹させてもらう」とあいさつしました。

また、開催地である厚真町の宮坂尚市朗町長は「震災では町内の36名のかげがえのない命が失われた。この地で植樹祭が行われ、皆さんの手で植樹が行われることは被災地の復興の大きな一歩につながると思っている。一本一本心を込めて植樹していただきたい」と述べられました。

厚真、安平、むかわ3町の代表児童5名が、森林を守り大切に育てていく旨の緑の宣言を行い、その後、参加者がそれぞれの植栽区域に分かれて植樹を行いました。

## 胆振地区指導林家連絡協議会が北海道植樹祭を支援

前述の第73回北海道植樹祭で胆振地区指導林家連絡協議会の小出指導林家（伊達市）、池田指導林家、桔梗原指導林家（白老町）、黒川指導林家（厚真町）の4名のほか、岩見沢農業高校森林科学科の2・3年生25名及び関係官公庁職員が植樹活動の運営スタッフとして一般参加者へ植樹活動の指導支援を行いました。

10のブロックに分かれた一般植樹参加者約400名に対し、事前に植え穴の掘り方や植え付け方法、エゾシカによる食害防止用資材「くわんたい」の設置方法等を実演指導した後、一般参加者の植樹のサポートを行いました（写真）。



小池指導林家（左）



桔梗原指導林家（右）



池田指導林家（右）



黒川指導林家（左）

運営スタッフとして参加した黒川指導林家は植樹祭会場のすぐ上に山林を所有しており、5年前の震災で大きな被害を受けて、現在もその森林の再生に向けて意欲的に取り組んでいます。

今回の植樹祭には地域の復興への願い込めての参加となりました。

今回、北海道植樹祭が厚真町で開催されたことで、被災地3町の森林再生が進むことが期待されます。



（写真左）  
レバンガ北海道の島谷選手とマスコットキャラクターのレバードも植樹活動に参加しました

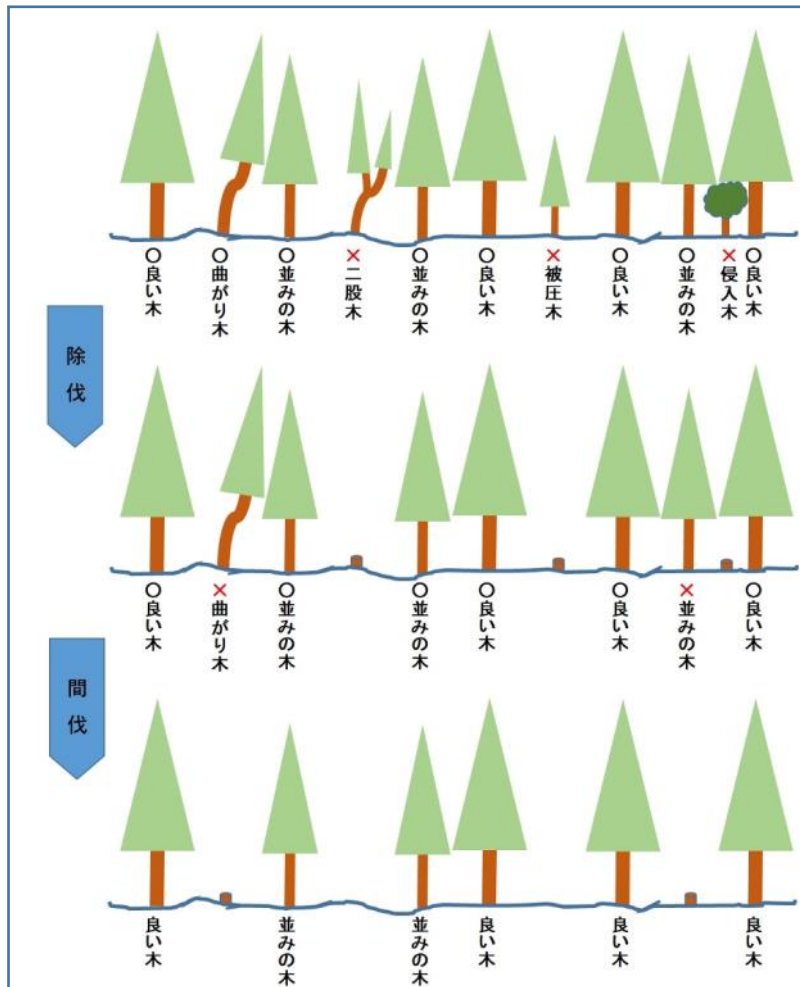


# 山つくり技術情報 ～造林地の手入れ（除伐・間伐・枝打ち）～

下刈りが終わると、その後は、植栽木の生長をさまたげるツルや侵入木の除去が必要です。

また、植栽木の中の不良なものを取り除いてやる除伐や、木が混み合ってきたときに間引きする間伐、無節で形質のよい材を生産するための枝打ちなどを行う必要があります。

## ●選木は、できるだけ自分でやる。(自分の山の状態を知る)



### ■ 林を整理するための除伐

植栽した木の樹高が伸びて下草刈りが終わってから数年が経過すると、植栽木以外の侵入木やつるが植栽木の成長を妨げるようになります。

また、植栽木の中でも成長の悪い物や、曲がったり二股になった物、傷がついた物も出てきます。除伐は、そうした侵入木や不良木を取り除く施業で、伐根からの萌芽力が弱くなる夏期に実施するのが効果的です。

### ■ 生産目標を定めて間伐を

植栽した木が生長して林が混んできると、隣接木と枝が重なり林内に光が入らなくなるため、下枝が枯れ上がり着葉量が減少することから直径成長が乏しくなります。その結果、ひよろ

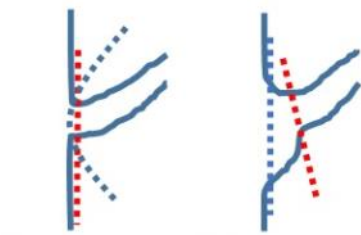
ひよろの木になり風や湿雪による被害を受けやすくなります。間伐は、植栽木を間引きすることで林の混み具合を調節し、直径成長を促して林を健全な状態に保つために行う施業です。

間伐には、収穫表や林分密度管理図などから事前に伐採量を決めてから、造林木の形質や成長の具合を見て、良い木・悪い木・並みの木に区分し、良い木（立木）を中心に周囲の悪い木・並みの木を選木して伐採する「定性間伐」と、伐採量に合わせて列条に伐採する「列状間伐」があります。

列状間伐では、一方向に伐採していくためかかり木はほとんど発生せず、残存木への損傷も抑えられます。ただし間伐木は機械的に列で選ばれるので、良い木も悪い木も伐採され、間伐後に悪い木も残ることになるので、まだ生立本数が多い若い林（初回間伐）で行うのに適しています。

## ●枝打ちの2つの目的 優良材をつくる・林内環境を整える

### ■枝の適切な切断位置



付け根が  
普通の枝

付け根の  
発達した枝

..... 適  
..... 不適

### ■枝打ちと節の巻き込み



枝打ち実施

枝打ち未実施

枝打ちを行う場合は、葉量除去率が40%を超えると直径成長が急激に低下し当然材積成長も少なくなります。このため、樹高に対して60%程度の樹冠長を確保するように行うことが、その後の成長与える影響は少ないでしょう。さらには、林分の全木に対して枝打ちを行うのでは無く、将来の優良材候補に対して枝打ちを行うことが肝要です。

枝打ちは、付加価値の高い節のない優良材を生産すること、林内に光を入れ、林床植生を増やすことで土壌浸食を防いだり生物の多様性を高めたりする、森林の公益的機能を維持・改善する効果があります。

## 最近の木材市況

～ 道林業木材課調べ (2023年6月) ～

### 【道内の原木流通の動向】

- ・トドマツ原木は、概ね順調に入荷。製材出荷量の減少により原木在庫は増加傾向。市況は弱含み～強気配。
- ・カラマツ原木は、概ね順調に入荷。製材受注低調により原木在庫は増加傾向。市況は弱保合～強含み。
- ・チップ原料材は、保合～強含み。

### 【胆振管内工場着価格】

樹種	材長 (m)	径級 (cm)	m <sup>3</sup> 当たり単価 (円)	前月差 (円)	100石当たり 単価 (円)
カラマツ	3.65	9～13	9,000	300	250,200
		14～18	9,300	0	258,540
		20～28	10,200	0	283,560
		30～	11,800	300	328,040
	パルプ	6,300	100	175,140	
トドマツ	3.65	14～18	9,800	0	272,440
		20～22	12,300	100	341,940
		24～28	12,800	300	355,840
		30～	12,700	700	353,060
広葉樹	パルプ		9,700	200	269,660

注) 前月差欄の△印は、値下がりを示す。